

【報道関係各位】

2021年9月9日
 三谷産業株式会社
 株式会社小金井精機製作所

日本・ベトナム両国政府により設立された日越大学において 「日本型ものづくり」をテーマに企業連携講座を開講

～日本のものづくり経営・現場研究の第一人者・藤本隆宏先生による特別セミナーを開催～

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）と株式会社小金井精機製作所（本社：埼玉県入間市／代表取締役社長：鴨下 祐介、以下 小金井精機製作所）は、ベトナム社会主義共和国ハノイ市に拠点を置く日越大学（本部：ハノイ市／学長：古田 元夫）において、「日本型ものづくり」をテーマとした企業連携講座の開講を本年4月に発表し、9月8日にオンラインで開講式および特別セミナーを開催しました。

日本とベトナムの政府の合意により2016年に設立された日越大学では、ベトナムの将来を担い、グローバルに活躍できる人材の育成を掲げ、教育・研究を行っています。本連携講座では、日越大学「日本学プログラム」の学部生を対象に、グローバルな視野で日本のものづくりを捉え、教養として身につけ、その知見を活かすことのできる人材育成を目的に、日本のものづくりについての識者および日本を代表するメーカーによる講義を提供してまいります。



開講式における来賓ご挨拶
 山田滝雄駐ベトナム日本国大使



特別セミナー講師 藤本隆宏先生

■本連携講座における講義提供者・企業一覧（企業名は五十音順）

- ・ 早稲田大学 教授／東京大学 名誉教授 藤本隆宏 先生
- ・ 一般財団法人日本科学技術連盟
- ・ 株式会社小金井精機製作所
- ・ セイコーエプソン株式会社
- ・ 株式会社デンソー
- ・ 東レ株式会社
- ・ 本田技研工業株式会社
- ・ 三谷産業株式会社

■一連の企業連携講座の開講式を開催

本連携講座は、2021年から2023年まで年1回の特別セミナー、2021年9月～2022年2月の選択科目「日本とベトナムのビジネス」、2022年2月～7月の専門必修科目「日本型マネジメント」から成ります。この一連の講座のスタートに当たり、9月8日に開講式を開催しました。

開講式では日越大学学長 古田元夫様、小金井精機製作所代表取締役社長 鴨下祐介様、三谷産業取締役会長 三谷充からのご挨拶のほか、本連携講座を支援いただく駐ベトナム社会主義共和国日本国特命全権大使 山田滝雄様よりご祝辞を賜りました。加えて、本連携講座に講義提供のご協力をいただくセイコーエプソン様、デンソー様、東レ様、本田技研工業様、日本科学技術連盟様からお寄せいただきましたメッセージをご紹介します。

<ご祝辞・ご挨拶のコメント一部紹介>

駐ベトナム社会主義共和国日本国特命全権大使 山田滝雄 様

日本とベトナムの二国間の広範な戦略的パートナーシップのもとでの両国間の連携を更に拡大させていくことを確信しています。2023年に日本とベトナムは国交樹立50周年を迎えます。昨年10月に菅総理が日越大学においてスピーチされた際に、両国の関係は無限の可能性があると述べられました。本講座を通して、学生の皆さんが将来さまざまな分野で両国の協力関係の架け橋となるだけでなく、地域・国際社会で活躍されていくことを期待します。

日越大学 学長 古田元夫 様

日越両国により設立された日越大学の一つの重要なミッションは、将来のベトナムの発展に貢献する日本の経験を学生がよく学べるようにすることです。学生にはグローバルな視野で、受動的ではなく主体的に、かつ批判的に日本の経験に学ぶことを期待します。このたび、三谷産業、小金井精機製作所とのパートナーシップにより、記念すべき企業連携講座を開講できることを大変嬉しく思います。

株式会社小金井精機製作所 代表取締役社長 鴨下祐介 様

F1や航空機のエンジン部品を手掛ける当社において、高度な機械加工や複雑なプログラムをベトナム人が担ってくれており、ベトナム人エンジニアの力がなければ、F1レースに大きな支障が出てしまう、そういう大事な仕事を彼らはしてくれております。今回の企業連携講義を通して、日本とベトナムのものづくり、人材育成、雇用関係すべてが良い方向に進むことを確信し、楽しみにしております。

三谷産業株式会社 取締役会長 三谷充

私が27年前に、ベトナムの若者のきらきらした目に将来性を感じ、自分たちがより豊かな未来を作っていくのだという強い意志を確信できたことが、当社の現在のベトナム事業につながっていると考えています。そして今、日越両国の期待を背負う日越大学の若者に向けて、日本のものづくりをテーマに講座をご提供できますことは大変意義深いものであります。

■特別セミナー「Monozukuri-Japanese style manufacturing in the 21st century」

開講式に続いて、日本のものづくり経営や現場に関する研究の第一人者である早稲田大学教授／東京大学名誉教授の藤本隆宏先生による特別セミナー「Monozukuri-Japanese style manufacturing in the 21st century」を開催しました。

対象は日越大学日本学プログラムの学部生のほか、同大学教職員・修士課程学生、ベトナム国家大学ハノイ校経済大学および国民経済大学の研究者、さらに政府機関および企業関係者とし、計144名がオンラインで聴講しました。また講義の後には日越大学副学長 Tran Thi Thanh Tu 様の進行のもと、ベトナム人の有識者3名を交えてディスカッションを行いました。

(藤本隆宏先生 ご略歴)

1979年 東京大学経済学部卒業、三菱総合研究所入社	1997年 ハーバード大学上級研究員
1984年 ハーバード大学ビジネススクール博士課程入学	1998年 東京大学大学院経済学研究科教授
1989年 ハーバード大学ビジネススクール博士号取得	2002年 日本学士院賞/恩賜賞受賞
1989年 ハーバード大学研究員	2004年 ものづくり経営研究センターセンター長
1990年 東京大学経済学部助教授	2013年 一般社団法人ものづくり改善ネットワーク 代表理事
1996年 リヨン大学客員教授、INSEAD 客員研究員	2021年 早稲田大学教授、東京大学名誉教授
1996年 ハーバード大学ビジネススクール客員教授	

■企業連携講座 概要

名 称： 日越大学・三谷産業・小金井精機製作所 企業連携講座

期 間： 2021年9月～2023年12月

場 所： 日越大学 (ベトナム・ハノイ市)

協力科目：

- ①「日本とベトナムのビジネス」(2021年9月～2022年2月) 対象：学部2年生
- ②「日本型マネジメント」(2022年2月～7月) 対象：学部2年生 ※必修科目
- ③ 特別セミナー(2021年9月からの学期より年1回) 対象：学生、研究者

本連携講座は、ベトナムと密接な関係を持ち事業を展開する三谷産業および小金井精機製作所がコーディネートする形で、日本の社会・経済の発展の原動力となってきた「ものづくり」をテーマに取り上げます。

日本を代表する複数の大手メーカーや造詣の深い識者にもご協力をいただき、ベトナムの学生に向けて日本のものづくりの進歩の歴史や経営のあり方、現場における実践事例を紹介し、日越大学の教育理念のもと、グローバルな視野で日本のものづくりを捉えることができる人材を育成することを目指してまいります。

日越大学の正式な学部科目として単位が認定されることも大きな特徴であり、学部プログラムの必修科目となるものも含まれます。日越両国政府においても非常に関心の高い取り組みと、評価いただいています。

また、本連携講座は、在ベトナム日本国大使館及び独立行政法人国際協力機構(JICA)ベトナム事務所の支援も得て実施されております。

(関連情報)

- ・2021年4月9日三谷産業公表『三谷産業・小金井精機製作所、日越大学において「日本型ものづくり」をテーマに企業連携講座を提供』

<https://pdf.irpocket.com/C8285/CzAL/atGI/IXwh.pdf>

(補足情報)

【日越大学について】 <http://vju.ac.vn/VietnamJapanUniversity.html>

日越大学は、日本とベトナムの両政府により両国の友好と結束の象徴として設立され、2016年9月にベトナムのハノイ市で開校しました。東京大学、大阪大学、筑波大学、横浜国立大学、早稲田大学、立命館大学、茨城大学等の日本の有力大学と、ベトナム国家大学ハノイ校が協力し、グローバルに活躍する人材の育成を目指しています。現在、修士課程8プログラム（地域研究、企業管理、気候変動・開発、環境工学、グローバル・リーダーシップ、社会基盤、ナノテクノロジー、公共政策）および学士課程日本学プログラムを開講しています。

日越大学では、JICA 技術協力「日越大学修士課程設立プロジェクト」(TC1) が2015年4月から5年にわたり実施され、引き続き、2020年4月からは同「日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト」(TC2) が開始されています。

【株式会社小金井精機製作所について】 <http://www.koganeiseiki.co.jp/>

小金井精機製作所は半世紀以上に渡りものづくり日本を象徴する精密機械加工業の発展に貢献してきました。世界最高峰を誇る、マシニングセンター、研削、旋削機械、精密測定機を駆使して作られる加工製品は日本のみならず、世界的にも大変高い評価を受けています。ヨーロッパを始め世界中の人々を虜にするF1、アメリカで最高峰レースと位置付けられるインディ 500、ヨーロッパのみならず東南アジアでも人気沸騰中のMotoGPなど世界中のレースシーンにおいてかなりの割合で製品が使用されているほか、近年の航空機需要の増加に伴い、そのジェットエンジン量産部品加工にも、活躍のフィールドは広がっています。

創業以来一貫してお客様の立場に立ち、短納期での高精度部品の加工に傾注してまいりました。世界最高精度を追求するためにはどのような苦難も厭いません。お客様のご要望どおりの部品を納期どおり、リーズナブルに提供する。この一見当たり前で実は時に困難な条件をクリアーすべくさまざまな準備、努力をフルパワーで邁進しています。

【三谷産業グループについて】 <https://www.mitani.co.jp/>

石川県金沢市で創業して93年、ベトナムで創業して27年の複合商社です。北陸、首都圏、ベトナムを拠点に、化学品／情報システム／樹脂・エレクトロニクス／空調設備工事／住宅設備機器／エネルギーの6セグメントで事業を展開しています。商社でありながら、時にメーカーとして、また時にコンサルタントとして、お客様にとっての最適を追求するとともに、「創業90年を越えるベンチャー企業」として更なる進化へと挑戦しています。

三谷産業ではベトナム子会社の総称をAureole（オレオ）グループと称しています。“Aureole”とは、フランス語で「栄光」を意味する言葉であり、ベトナム子会社の社名に冠しています。三谷産業が1994年にベトナム・ホーチミン市において事業を開始し、2021年9月現在ではベトナム国内において、現地子会社7社およびハノイ・ホーチミン駐在事務所合わせて計16拠点、現地社員数は約2,600人を有する規模になっています。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

日本側窓口)	三谷産業株式会社 経営企画本部 PR 企画室 TEL: 03-3514-6003 (担当: 木下)
ベトナム側窓口)	三谷産業株式会社 ベトナム広報戦略室 TEL: +84-28-3821-9110 (担当: 金山)